

広報

# ただみ

5  
2022 月号  
No. 624  
令和4年5月10日



## 今月の表紙

### 【町内小中高校入学式】

新年度が始まり、町内小中高校では入学式が行われました。朝日小学校の入学式では、齋藤校長が新入生に「入学おめでとうございます。学校生活では、様々なことに挑戦してください」とお祝いの言葉を贈りました。  
(関連記事：P 2～3)

### 《特集》

- 町内小中高校 入学式 …………… 2～3
- 《News&flash》 …………… 4～7
- 《町の話》 …………… 8～9



# ご入学おめでとうございます

今年度も小・中・高等学校で入学式が行われ、町内全体で82人の児童・生徒が新たに学校生活をスタートさせました。

新生活に不安も多いかと思いますが、各学校で過ごす時間は、入学生の皆さんにとってかけがえのない財産になることでしょう。

★今年度入学された各学校の皆さんを写真で紹介します。



## 只見 小学校

新入児童 7人  
全校児童 38人



## 朝日 小学校

新入児童 5人  
全校児童 42人





# 明和 小学校

新入児童 9人

全校児童 47人

# 只見 中学校

新入生 25人

全校生 87人



# 只見 高校

新入生 36人  
(うち山村留学生6名)

全校生 91人

## 只見町民の生活を守る

### 只見町消防団辞令交付式

只見町消防団辞令交付式が4月1日に行われ、目黒邦友団長、三瓶一也副団長、梁取克昌副団長、五十嵐敦彦副団長の4人に辞令が交付されました。

渡部町長は「消防団の取組みに感謝しています。町民の皆さんが健やかな日常を送れるようによろしくお願いします」とあいさつをしました。目黒団長は、「周りから見ても優秀と思われる消防団を目指していきます」と意気込みを話しました。



▲目黒団長、梁取副団長、五十嵐副団長は2期目、三瓶副団長は4期目になります

## 鳥獣被害軽減のために

### 鳥獣被害対策実施部隊・有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式

只見町鳥獣被害対策実施部隊と只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊の編成式が、4月4日に朝日振興センターで行われました。

今年度は、只見地区14人、朝日地区9人、明和地区16人の計39人が実施部隊・捕獲隊として活動します。

渡部町長は「皆さまがいなければ、只見町の生活が危ぶまれます。お仕事をされながら活動している方もいて大変だと思いますが、町民の生活を守るためにお力添えをお願いします」と話しました。



▲隊員を代表して辞令書をうけとる深津隊長

## 森林資源の活用を考える

### 「雪上間伐運搬体験」開催

深沢区の協力のもと、只見町ブナセンターにより「雪上間伐運搬体験」が4月15日から16日に開催されました。

この体験では、かつて薪炭林として利用されていたブナなどの広葉樹林の間伐を実施することで、用材や薪材として活用するための木の成長を促し、地域の振興に寄与することを目的として実施されました。

参加者は間伐材を雪上で滑らせた後、引っ張り運ぶ体験を行いました。今回運び出された間伐材は、用材や薪材として利用される予定です。

渡部町長は「今回の体験をきっかけに放置されてきた町内の森林資源を持続可能な形で活用する中で地域の活性化につなげたい」と期待を込めました。



▲間伐したブナを雪上で運び出す「春木山」を体験した参加者

## 今年度の重点事業を報告

### 「令和4年度町政報告会」開催

町から各区長に当年度の重点事業の説明や事業への協力を依頼する場として開催している「町政報告会」を、4月22日に開きました。

報告会では、「J R只見線全線再開通事業について」や「有害鳥獣対策について」、「ただみモノとくらしのミュージアム開館・運営について」など18項目について、担当課から報告が行われました。

その後、各区長から事業に対する質問などが挙げられ、活発な意見交換の場となりました。



▲例年、町の事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます

運営事業者(サービス提供者)

株式会社 会津ただみ振興公社

- 総合案内機能
- 物販サービス
- 飲食サービス

味付マトンケバブカフェ  
(有限会社 セイワ電子)

- 飲食サービス

合同会社 ねっか

- どぶろく、甘酒の製造

現在只見駅前では、賑わい創出エリアの利活用のために、融雪撤去などの駐車場整備が進められています。その後はサービスを提供する場としてユニットハウス等の整備が予定されています。

なお、詳細につきましては、観光商工課(☎82-5240)にお問い合わせください。

秋の只見線全線再開通を盛り上げる

「只見駅前賑わい創出事業」  
進捗報告

只見中 中学生記者が書く SDGs コラム

ペット フリー マンデー  
第4回 『PET Free Monday』  
の取組(後編)

文：佐藤 優妃(3年生 前SDGs委員長)



『PET Free Monday (ペットフリーマンデー)』の内容は以下の通りです。

- 毎週月曜日は、ペットボトル飲料を飲みません。合い言葉は「ペット飲料 飲まんデー」
- 月曜日に部活動の大会があってペットボトルを利用した週は、自分でその週の中でペットボトルを休む曜日を設定します。
- この活動を町内の小学校、高校にも広めます。
- 家族等でどうしても賛同いただけない方を、責めてはいけません。
- ペットボトル入りの醤油や、ドレッシング等はこれに含まれません。

**PET Free Monday の取組**

私たち只見中生と先生方そしてその家族は、地球温暖化防止の観点から1週間に1度ペットボトル入りの飲料を飲まない運動を行います。

**実施方法**

- ・ 毎週月曜日は、ペットボトル飲料を飲みません。
- ・ 合い言葉は「ペット飲料 飲まんデー」
- ・ 月曜日に部活動の大会があってペットボトルを利用した週は、自分でその週の中でペットボトルを休む曜日を設定します。
- ・ 来年度には町内の小学校、高校にも広めます。
- ・ 家族等でどうしても賛同いただけない方を、責めてはいけません。
- ・ ペットボトル入りの醤油や、ドレッシング等はこれに含まれません。

完全に禁止にすると私自身も困るし、飲料の販売店にも迷惑がかかってしまうのでそこは考慮しつつ、活動をじわじわ広げようというものです。まずは只見中からですが、いずれ世界中に広げられることができれば素敵だと思います。月曜日の取組みを忘れないためにも「ペット飲料 飲まんデー」という合い言葉も設けました。これは地域の方からヒントを頂きました。クスッと笑いながら取り組めそうですね。

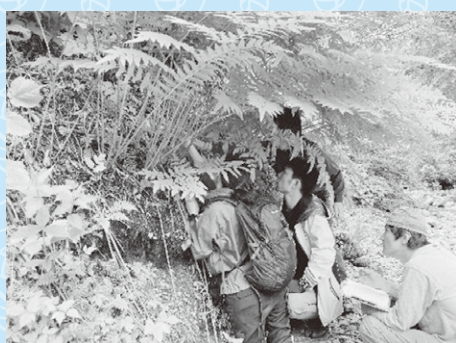
現在は『ペットフリーマンデー』を実行してもらうために、金曜日と月曜日に校内放送を通じて、呼びかけています。学校ではペットボトル飲料をほとんど利用しませんが、問題は家に帰ってからです。私もそうですが、自宅に帰ると忘れてしまったり家族がその取組みを忘れてしまうことがあります。そのため、ペットボトルを冷やしている冷蔵庫に月曜日は『ペットフリーマンデー』の表示ができる方法を考えています。そうすれば、『ペットフリーマンデー』が多くの人に取り組んでもらえるのではないかと考えています。

ぜひ町内の皆さんも、『ペットフリーマンデー』と一緒に取り組んでみませんか? 合い言葉は「ペット飲料 飲まんデー」

# 令和3年度「自然首都・只見」 学術調査研究成果発表会

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、ユネスコエコパークに登録された只見町の自然環境・生物多様性や民俗・歴史の調査研究に取り組む研究者等に町が助成を行い、それらの科学的評価を行うとともに、只見町の新たな価値の発見、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用を図ることを目的とした事業です。

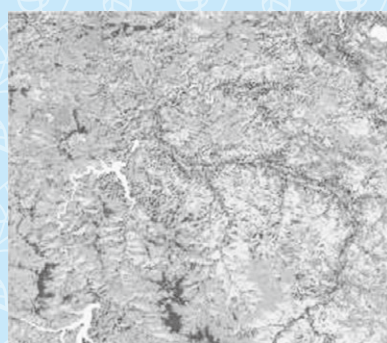
今年度は3件の調査研究が本事業の助成を受け実施され、各研究者からの研究成果報告が2月5日から3月31日の期間にてオンライン形式（成果発表動画のインターネットでの配信および、ただみ・ブナと川のミュージアムでの放映）で行われました。各調査研究の概要を下記にご紹介します。



▲ゼンマイ調査の様子



▲古民家調査の様子



▲調査の結果得られた生態系マップ

ゼンマイは日本海側の豪雪地帯で多く採集されている山菜で、地域の文化や経済における重要な生態系サービスである。しかし、過疎化などで利用が減少しており、生育地の情報等が失われつつある。本研究はゼンマイ生育地の把握や保全・管理のための指標として生態学的な知見を提供し、持続可能な資源利用に貢献することを目的とした。叶津川上流域の木ノ根沢集水域において、ドローンを用いた空撮によって急傾斜地も含めたゼンマイの分布を明らかにした。また、ゼンマイの成長段階ごとの生育環境を調べ、その分布が形成されるメカニズムを調べた。

分布調査の結果から、北東向急斜面の上部の局所的な湿潤地を中心にゼンマイが生育していることが示唆された。成長段階ごとの生育環境調査の結果からは、実生は、暗く、コケ類が覆い、葉や枝の堆積が少ない場所に集中する傾向があった。実生の定着には乾燥を回避できる環境が重要だと言える。成熟個体の分布は、実生よりも明るく、土壌が厚い場所にシフトしていた。一方で、成熟個体の中でも相対的に暗い場所で大型化する傾向があった。

今回の調査で明らかになったゼンマイの成長史段階による生育環境の違いは成長の過程で生存や成長に及ぼす環境要因が変化することを示唆している。今後はこれらの関係をより詳細に調べるとともに、個体群動態の解析を行い、個体群の維持に必要な情報を明らかにしていきたい。



武藤美緒（横浜国立大学大学院環境情報学府）  
近藤博史、酒井暁子（横浜国立大学大学院環境情報研究院）

## 只見町木ノ根沢集水域における ゼンマイ個体群の分布 ～生活史段階に着目して～



## 只見町の古民家は

### 何の木で作られているのか？

2015年から2021年の調査のまとめと今後の展望

阿部伶奈 (信州大学大学院理工学研究科)

岡本誠矢 (信州大学工学部建築学科)

土本俊和 (信州大学工学部)・井田秀行 (信州大学教育学部)



古民家およびその生活様式には、地域の自然資源を合理的かつ持続的に利用するための生態学的な知識が豊かに含まれている。そのような地域固有の伝統的な知識体系(伝統知)を理解し、応用することは、今後の持続可能な社会の発展を支える上で不可欠である。本研究では、平成27年から行ってきた只見町での古民家調査の結果と今年度の追加調査の結果を総括する。7年間の調査で実測調査を計12棟の古民家で行い、うち11棟で部材の樹種判定を実施した。また、古民家の解体後の古材利用の現状について把握するため、只見町の古民家の解体に関わった複数の工務店に聞き取り調査を行った。

と、各樹種で特徴的な使用がみられたため、樹種の特徴を捉えた適材適所の樹種選択がなされていたことが推察された。一方、古材の需要の低迷や古材を扱える技術者の不足により、古民家解体後に古材が建材として再利用されているとは言い難い現状があった。古民家の放棄や解体が進む中、古民家や古材の価値を見直し、その利活用の促進を図るためには、解体にかかる時間や費用を理解した上で保存・再利用しようという所有者の意志が不可欠である。また、解体・古材選別に関わる技術者の育成も重要である。かつての只見町では樹種の特徴を捉えた地域材の有効活用があったことが本研究によって明らかとなった。こうした調査結果を地域住民にも広く伝え、古民家や古材利用の価値向上に役立てることが次の課題である。

## 只見ユネスコエコパーク

### および周辺域における

### 生態系マップ作成

平山英毅、原慶太郎 (東京情報大学総合情報学部)



今年度の研究の目的は、只見ユネスコエコパークとその周辺域を対象とした生態系の持続的な維持管理に向けた生態系マップを作成することである。昨年度試行的に作成した現況植生図の改良を進めると共に、優占種(属)レベル(ブナ属、マツ属など)の植生図から分類タイプを統合した相観レベル(落葉広葉樹林、常緑針葉樹林など)の植生図の作成を試みた。只見ユネスコエコパークとその周辺域を対象とし、以下の手順で植生図の作成を進めた。まず、地球観測衛星によって取得された衛星画像を収集・整備した。次に、現地調査および空中写真を用い、どこに何の植生が存在しているかといった必要な情報を整備した。最後に、AIの一つである機械学習技術を用いて植生図を作成した。

衛星リモートセンシングとAIを用いて作成した現況植生図は、検証の結果、現在の植生分布を的確に表現できていることが明らかとなった。この要因としては、衛星データの整備方法や機械学習を用いた解析手法が適切であったこと、真値の整備を正確に実施できたことが考えられた。また、群落タイプごとの垂直分布や傾斜角度との関係からも、現況植生図が只見ユネスコエコパークの植生分布を的確に表現できていると考えられた。只見ユネスコエコパークとその周辺域を対象に、衛星リモートセンシングとAIの一つである機械学習技術による現況植生図を作成することができた。今後、現地検証を行い植生図の正確さが担保されることで、自然環境の維持・管理に貢献することができることが期待される。

## 雪上でスポーツを楽しむ

# 「TADAMIスノースポーツフェスティバル2022」開催

只見町の豪雪を利活用する「TADAMIスノースポーツフェスティバル2022」が、3月27日に亀岡サンドバレーコート特設会場で開催され、雪上バレーボールや雪上フットサルなどが行われました。

当日は、町内外の子どもから大人まで約150人が参加しました。また、宮城県蔵王町でも冬のスポーツとして雪上バレーボールを広める計画をしており、蔵王町スポーツ振興課の方が視察のため会場を訪れました。

参加された皆さんは、「雪の上での競技は、動くのが難しいですが、普段と一味違って楽しかったです」と話しました。



▲雪上バレーボールは町外チームも参加しました

## 自分の身を守るため

# 「交通安全教室」開催



▲歩行者シミュレーターで安全確認の仕方を確かめました

南会津警察署は、只見グランドゴルフ愛好会の方を対象とした「交通安全教室」を4月13日に開催しました。

初めに交通安全に関する講話が行われ、「夜間に外出する際は明るい色の帽子や反射材を身につけること」など事故を防止するために必要なことを再確認しました。

講話後、歩行者シミュレーターを使い、道路横断の際に注意することを様々な場面（時間帯別や道路状況別）で体験しました。

参加者の方は「道路横断の際は、両側から車が来ないことをしっかりと確認し、安全が確認できてから渡るよう心掛けたい」と話しました。

## 100歳おめでとうございます

# 皆川哲夫さんに「知事賀寿」贈呈

3月26日に満100歳を迎えられた皆川哲夫さん（只見）の知事賀寿の伝達が皆川さんのご自宅で行われ、福島県知事賀寿状や会津塗りの木杯などが贈られました。

皆川さんは「長寿の秘訣は、暴飲暴食をせず規則正しい生活することや体に優しい自然食品を食べること。何事も無理せずに穏やかに過ごすことにしている」と話しました。

これからも長生きしてくださいね。



▲満100歳、おめでとうございます



## 伝統芸能を学び、継承する

### 明和小学校「伝統芸能発表会」

明和地区に伝わる伝統芸能の練習や発表を通じて、地域との交流や文化の継承、「只見愛を育む教育」の実現を目的とした明和小学校の「伝統芸能発表会」が3月17日に行われ、地域や保護者の方が参観に訪れました。

発表会では、「大倉八木節」（1、2年生）、「小林早乙女踊り」（3年生）、「梁取神楽」（4年生）が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

発表会終了後には、練習や着付けなどでお世話になった地域の方々に感謝状とメダルが贈られました。



▲1、2年生が真剣な表情で演じた「大倉八木節」



▲オオトリを飾った3年生の「小林早乙女踊り」



▲4年生が元気に披露した「梁取神楽」



▲4月1日より人権擁護委員に委嘱された渡部早苗さん

## 地域住民の人権を守る

### 人権擁護委員に渡部早苗さん

渡部早苗さん（小川）が、令和4年4月1日付けにて法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、人権相談会開催や人権に関する啓発活動を行うなど日々の問題解決に向けて取り組む民間のボランティアです。

今後は只見町担当として、角田行雄さん（小林）、鈴木美穂さん（只見）と一緒に活動されます。

## 書家・五十嵐天宗さんから只見高校へ

### 書「闘志」を寄贈

会津若松市の書家・五十嵐天宗さんは、4月8日に只見高校を訪問し、自身の書「闘志」を寄贈しました。

五十嵐さんは「只見ナインの戦う姿に感動しました。自分に何かできることはないかと思い、またこれからも只見高校が羽ばたけるようにとの思いから書かせてもらいました」と話しました。

寄贈を受けた只見高校の伊藤校長は「奮い立つものが感じられます。大切に飾っていきます」と話しました。



▲書を寄贈した五十嵐さん（左）、目黒後援会長（中）、伊藤校長（右）  
（写真提供：福島民報社）

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 やまなみ ひろあき  
山並 寛明



皆さまこんにちは。4月から常勤医として朝日診療所に着任しました山並寛明と申します。出身は宮城ですが、家庭医療を深く学ぼうと福島にやって参りました。(福島には「地域・家庭医療学講座」という、医大を母体とする医師のネットワークがあり、所属者で定期的に診療能力の向上を様々な角度から図る勉強会を行うなど、家庭医として研鑽を積む環境が整っています。森先生、若山先生もその講座に所属しています)昨年度は福島市で勤務し、今年度から満を持して(?)只見町勤務です。

医師としては7年目になりましたが、診療所で働くのは初めての経験です。病院で内科的な入院を主に診ていたのに比べると、朝日診療所の業務は外来(外傷やお子さんなどの対応を含む)・入院のほか、訪問診療、介護福祉関係者との提携、地域保健活動など、仕事の区切りがなく地域の医療に包括的に携わっていく形になると思います。若輩者ですが、若山先生・森先生、地域のスタッフそして皆さまに教えられながら、少しでも早く仕事がこなせるように慣れていきたいです。まずは地域の皆さまの名前を覚えることに時間をいただきそうです。

趣味は電車やバス、自転車で出歩くことです。只見にも只見線に乗って参りました。全線開通したら改めて乗ってみたいです。車は10年近くペーパードライバーでした。5月以降SUBARUのXVがのろのろと走っていましたらお手柔らかにお願いします。こちらに来てからは幸い良い天気が続いており、伊南川と山並みの見せる自然に癒されています。機会があれば癒しの森の散策などにも参加してみたいです。只見の冬は今から心配しております。

町でもし見かけたらお気軽に声をかけて下さると嬉しいです。これからどうぞよろしく願いいたします。

## 地域おこし協力隊として Vol.89

空き家対策はこれからも続きます

移住定住支援協力隊 いませき まき  
今関 真貴



豪雪を体験しながら「移住定住支援協力隊」の仕事をして3年、私は只見に来て見渡すかぎり真っ白な雪景色が大好きになりました。特に今年は、働く除雪車にくぎづけ。雪が積もる日は人が寝静まるころ出勤、春は子供たちが早く校庭で遊べるように排雪。只見の生活は、いつも見えないところで誰かに支えられているのだと節々で感じます。

この5月には協力隊の任期満了を迎えます。私の主な業務は空き家対策で、空き家バンクの運営や利活用の相談対応、広報を通じた啓発などを担当しました。全国的な課題でもある空き家問題、町としての対策を模索しながら試行錯誤の日々でしたが、これまでの活動が一人でも多くの方の考えるきっかけとなり、実際に対策に踏み出すための一歩につながっていたのであれば嬉しく思います。なお、只見町の空き家対策はこれからも続きます。地域創生課には引き続き相談の窓口がありますので気になることがあればどうぞお訪ねください。

この原稿を書く4月現在、実はまだ今後の方向性を決めていません。「なんだったのんびりしてんなあ」という心配の声を背に、先のことは退任してからじねんと考えていこうなどと思っている所なのですが、これまで関わってくださったすべての方の元へ直接お伺いしてお話することは叶いませんので、この場をお借りして一旦ご挨拶とさせていただきます。

3年間本当にありがとうございました。

# みんなの只見線

只見線地域コーディネーター

酒井 治浩 さかい はるこ

## 「あたりまえの風景が突然消えた日」

みなさん、最近只見線に乗ったのはいつだったか思い出せますか。

もしかしたら、ずいぶん前に乗ったとき、乗っていない人も多いかもしれません。まだ只見線に乗ったことがない人も結構いらっしゃるのかもしれないかもしれません。

現在只見駅には小出行きが一日三本到着し、会津若松行きの代行バスが一日七本会津川口駅まで行き、会津川口駅からの列車に接続できるよう運行しています。

私は二〇一九年の秋から、只見線の定期列車の中でおもてなしとして観光案内と車内販売を行っています。区間は会津柳津駅と会津川口駅の間で、一日一往復、毎週土日と



祝日に乗車しています。乗っていない方は観光で訪れる方がほとんどですが、ときどき只見町の人と車内でお

会いすることもあります。

この車内販売の仕事は、福島県只見線再開準備室と只見線沿線市町で構成されている「只見線利活用推進協議会」が策定した「只見線利活用推進計画」という計画の下、只見線の観光路線化を推進するための実証事業として実施しています。

なぜ私が現在この仕事をしているのか、少し昔に戻ってお話したいと思います。

二〇一一年夏、只見町の人にとって記憶に新しい新潟・福島豪雨災害が発生してから、今年で十一年がたちます。その当ても只見線は秘境のローカル線として旅行会社のツアーが生まれ、大手の新聞でも紹介されるなどしていました。

また二〇〇一年には只見線にSLが復活し、年に数回の運行日には、車で追いかけていくつもの撮影場所でベストショットを撮影するための「追っかけ」の車で渋滞するようなこともありました。

SLが走る際、終点であり始点だった只見駅では、SL運行に合わせ、ちびっ子駅長が実際の駅長と同じ制服を着て乗客の皆さんをお迎えしてくれました。また、運行に必要な石炭や水を補給するための作業が行われ、会津若松方面へ方向転換するために、転車台を動かす作業を体験できるSLの転車作業体験が行われ、一大イベントとしてにぎわっていました。

空気を運んでいる時代遅れのローカル線というイメージがあったように思います。

私にとって十一年前の二〇一一年七月二十三日、二十四日、只見線全通四十周年を記念する特別列車が只見駅に来た日のことは忘れられません。次男が生まれたばかりでまだ産屋が明けない中、只見線の記念日をお祝いしているムードに包まれた只見駅に行つたときに、全通四十年という歴史を感じた瞬間でした。

その一週間後、只見町だけでなく只見川沿いの町村が被害を受けた水害により、只見線は橋梁や線路の流失など大きな被害を受け、当たり前前に走って来ると思っていた列車が只見駅から姿を消し、駅の窓口が閉じられました。只見駅に再び列車が帰ってきたのは、一年二か月後の二〇一二年十月一日のことでした。

(次号に続く)



# 町民文芸

## 只見短歌会

令和四年四月詠草

我が仮の佛壇に友は娘の好み居し餅供へくるるも

馬場 八智

戦争なんかしないでなかよくジャンケンで遊ばばいいのにと幼な孫言ふ

新国由紀子

灰撒きて雪解けうながす庭内に我の大事な水仙の有り

目黒 富子

春彼岸思ひ巡りし雪解けの花壇の隅に福寿草見ゆ

関谷登美子

欠かさずに日記付けある夫のそば我も書かむとペンを取り出す

渡部ヨリ子

なが病める我にと孫嫁花大きピンクの石楠花窓際に置く

新国 洋子

(出詠順)



## 只見俳句会

四月定例会

日高俊平太 指導

のんびりと雪解川見る村湯かな  
薫風や笑う親子の肩車

真理子

潤いて色生まれたる春の水  
春の夜や山を見ている月明かり

紺 青

春寒の目覚めに願う平和かな  
春雨やさざえ堂めぐりて御朱印を

妙 子

友は逝く峡の雪解の音を聴き  
言霊の森にひびくよ春の雪

恒 夫

啓蟄や雪屏に耳近づけて  
春光や川巾満たすダムの川

礼

添寝してふん張る足や春の闇  
シルバーカー曾孫と歩調春の道

一 穂

戦争と一緒に来たる春一番  
雪折れの樹木の下に墓一つ

修 一

秩父路に汽笛響いて春来たる  
コロナ禍に桜見る人みな優し

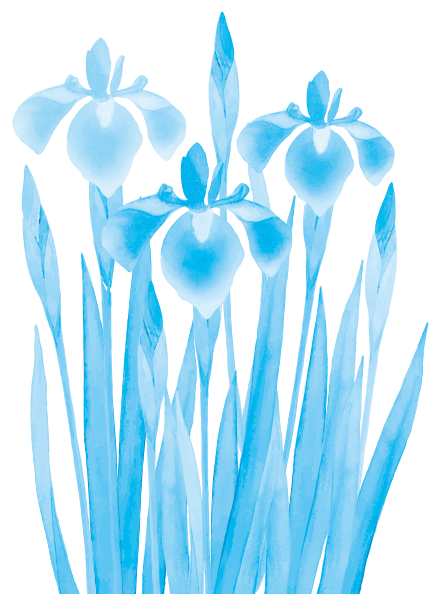
信

友逝きてやたら会えたり入り彼岸  
学校の隅々見えて春休み

都

「疲れたね」が挨拶となり雪明ける  
雪壁にライトアップを君見えますか

一 恵



# 今月のお知らせ

## 試験

令和5年度只見町職員（大学卒程度）（資格免許職）（短大卒程度・高専卒程度）採用候補者試験を行います

### 一、試験職種及び採用予定人員

#### 【大学卒程度】

○一般事務 若干名

○土木 若干名

○建築 若干名

#### 【資格免許職】

○保健師 若干名

○看護師 若干名

#### 【短大卒程度・高専卒程度】

○土木 若干名

○建築 若干名

### 二、受験資格（学歴不問）

#### 【大学卒程度】

○一般事務・土木・建築

昭和57年4月2日から平成13年4

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

5月25日までに  
納めましょう

- 軽自動車税（全期）
- 農集排使用料（5月分）

月1日までに生まれた者で、土木・建築職においては、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

### 【資格免許職】

○保健師・看護師

昭和47年4月2日以降に生まれた者で、保健師（保健婦）・看護師（看護婦）の免許を有する者、又は令和5年3月末までに資格取得見込みの者

### 【短大卒程度・高専卒程度】

○土木・建築

昭和57年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者で、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

### 三、試験の方法

#### 【第一次試験】

教養試験（大卒卒程度）及び事務

適性検査・性格特性検査・職場適応性検査

※大学卒程度（一般事務・土木・建築）、資格免許職（保健師）は、この他に専門試験があります。

### 【第二次試験】（一次試験合格者）

小論文・面接による試験

### 四、第一次試験の日時、会場

#### ▽日時

令和4年7月10日（日）

午前9時受付～午後5時

※試験内容により終了時間は異なります。

#### ▽場所

福島大学（福島市金谷川1番地）

### 五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

### 六、採用

合格者は採用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を決定します。（名簿の有効期間は1年間）

### 七、受験手続及び受付期間

申込用紙は総務課及び朝日・明和

振興センターで交付します。（郵送

による場合は、総務課宛に120円切手を貼った自分宛の返信封筒角二

### ▽受付期間

令和4年5月11日から6月10日まで（郵送による場合は、6月8日

までの消印有効）

### ○お問合せ先

只見町役場総務課総務係

☎0241-8215210

## 人事

### 只見町新規職員

●福島県派遣職員（4月1日付）

#### ▽保健福祉課

保健係

上杉 綾乃



# 「日本非核宣言」

## 「自治体協議会」に 加入しました

只見町は、令和4年4月1日付けで「日本非核宣言自治体協議会」に加入しました。

日本非核宣言自治体協議会は、1984年に広島県府中町で設立されました。設立の趣旨は「核戦争から生命とくらしを守り、世界恒久平和の実現に寄与することが自治体に課せられた重大な使命。宣言自治体がいかに手を結びあい、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を世界の自治体に呼びかけ、その輪を広げるために努力する」というものでした。現在、全国で300を超える自治体に参加しており、総会や研修会のほか、さまざまな平和事業などを通して設立の趣旨の実現を目指しています。

只見町の協議会への加入は、福島県内で7番目になります。なお、平成11年に只見町協議会が、非核宣言をしています。

## 町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆「子どもの読書活動の推進に関する法律」というのがあります。

これは文字通り子どもの読書活動を推進しようとするものです。

このほど明和小学校が「令和4年度子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しました。大変素晴らしいことであり、誠にありがとうございます。

読む力は学ぶための基本です。校長先生をはじめ、ご指導頂いているすべての先生方に敬意を表するとともに、お礼申し上げます。そして児童生徒の皆さん、これからも継続してくださいね。

◆ 本町におめでとうございます。

先月、内堀福島県知事が只見町に來られ、「モノとくらしのミュージアム(大倉)」を視察されました。

知事はゼンマイ採取の折に着用した「くもつけつ」や伐採した木材を搬出する際に使用した「がんだ」を手にとられ、質問されるなど、大変熱心にご覧頂きました。

◆ なお、正式オープンは7月下旬です。今月号に掲載されている「雪上間伐運搬体験」に私も参加させて頂きました。

紙谷先生(ブナセンター館長・薪エネルギー推進室特命参与)のご指導の下、安全面に十分気をつけて行われました。

私が驚いたのは地元の方々ばかりでなく他県の方々や大学生などの自主的な参加が多くあったことです。改めて関心の高さを感しました。

◆ 深沢区長様はじめ参加されたすべての皆様と関係者、スタッフの皆様から感謝申し上げます。

## 町長スケジュール (4月分)

- 1日 朝日診療所医師辞令交付式、町職員辞令交付式、定例庁議(新型コロナウイルス対策本部会議、豪雪対策本部会議)、南会津地方環境衛生組合及び西部クリーンセンター辞令交付式(下郷町、南会津町)、町小中学校教職員着任あいさつ、只見町消防団辞令交付式
- 4日 南会津農林事務所長着任あいさつ、(株)ニッコトラスト東日本北海道支社長新年度あいさつ、只見町有害鳥獣捕獲隊編成式、南会津建設事務所長他新年度あいさつ
- 5日 県立只見高等学校長及び教頭着任あいさつ、町内駐在所職員新年度あいさつ、福島県生活環境部只見線再開準備室主幹他新年度あいさつ、南会津教育事務所長着任あいさつ、南会津地方振興局長着任あいさつ
- 6日 明和小学校入学式、只見中学校入学式
- 7日 J R坂下駅長着任あいさつ、(株)季の郷湯ら里全体会、南会津森林管理署支署長着任あいさつ
- 8日 会津総合開発協議会役員会(会津若松市)
- 11日 県立只見高等学校入学式、只見町山村教育

- 留学生対面式、南会津警察署長着任あいさつ、臨時庁議(新型コロナウイルス対策本部会議、豪雪対策本部会議)
- 12日 福島県町村会長新年度あいさつ
- 13日 只見町建設業協会新年度あいさつ、福島県知事との意見交換、電源開発(株)田子倉電力所長あいさつ
- 15日 電源開発(株)東日本支店職員あいさつ、阿賀川河川事務所長新年度あいさつ、只見特産(株)社長来庁、只見町ブナセンター雪上伐採イベント
- 17日 明和自治振興会委員会総会
- 18日 只見特産(株)取締役会
- 19日 福島県水道協会理事会
- 20日 議会4月会議
- 21日 国道252号あいよし橋雪崩流出現場視察
- 22日 町政報告会
- 25日 薪エネルギー活用先進地調査(鮫川村)
- 26日 只見町鳥獣被害対策協議会、深沢温泉整備にかかる勉強会
- 27日 只見中学校1年生キャリア教育学習町長講和、福島県生活環境部長他着任あいさつ
- 28日 只見線利用促進実行委員会、ふくしま市町村支援機構副理事長他あいさつ、国道252号あいよし橋雪崩流出等に係る南会津地方対策本部会議
- 29日 会津医療センター漢方科医師来庁

# 町民の消息

(3月26日～4月25日届出分)敬称略

## ■おくやみ申し上げます

渡部 美 康	97歳	舘ノ川
五十嵐 英 美	76歳	榎 戸
鈴木 雪 子	84歳	只 見
菅 家 政 子	56歳	布 沢



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和4年4月1日現在

人 口	3,858 (-35)
男	1,898 (-15)
女	1,960 (-20)
世帯数	1,570 (-18)
高齢化率	48.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 23 転出 52 出生 1 死亡 7

▽ご入学された皆さん、おめでとうございます。新たな生活には慣れたでしょうか。新生活を精一杯満喫してください。  
▽今年も町内の桜が綺麗でした。桜と残雪と鯉のぼりが同時に見ることができるのは全国でも珍しいのではないのでしょうか。  
▽広報担当3年目になりました。至らない点もあるかと思いますが、引き続きよろしくお願ひします。

(小林)

## あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## 明和振興センター 図書紹介

明和振興センター図書室  
☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★同志少女よ、敵を撃て



逢坂冬馬 (早川書房)

1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、突如奪われる。日常と家族を奪った敵に復讐をはたすべく、中央女性狙撃訓練学校で、一流の狙撃兵になることを決意したセラフィマ。同じような境遇で家族を喪い、戦うことを選んだ仲間たちとともに訓練を重ねながら、やがてセラフィマは、赤軍女性狙撃小隊の一員としてスターリングラードの前線へ向かうことに——。  
今だからこそ読むべき文学。2022年本屋大賞受賞作品です。

## ★ことばのかたち



おーなり由子 (講談社)

わたしの話すことばは、どんなかたちや色をしているだろう…。ベストセラー『幸福な質問』のおーなり由子が紡ぐ詩と絵の本。もしも話すことばが目に見えたら——ことばの使い方は変わるだろうか？ ベストセラー『幸福な質問』(新潮社)や「ハオハオ」「あめふりりんちゃん」などの作詞でも知られる、おーなり由子が、日々の言葉の向こう側にある風景を詩のように描く「ことばと絵の本」。この本を読んだ後、大人も子どもも、きっと言葉の使い方が変わります。

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



## ジムグリ

(学名: *Euprepiophis conspicillatus*)

(文 吉岡義雄)

【有鱗目ナミヘビ科】



▲ ジムグリの幼体。只見町に生息する本種は、黒紋が発達せず、図鑑に載っている典型的な体色とは異なる



▲ 成体の頭部。アオダイショウやシマヘビと比較して、目が小さい。このつぶらな瞳がチャームポイントである

ジムグリは、北海道、本州、四国、九州および離島に分布する日本固有のヘビで、主に森林に生息します。平野部でも見られるものの、山地に多いことが知られています。成体は地味な褐色のヘビですが、幼体は鮮やかな赤が美しいヘビです。また、腹面は特徴的な市松模様をしており、この特徴から元禄蛇と呼ばれることもあります。

漢字で「地潜り」と書く通り、地中に潜るのが得意なヘビです。主に小型のモグラ類や地中で繁殖を行うネズミ類を捕食すると考えられています。頭部が小さくて頸部がくびれず、上顎の先端部が下顎を覆うようにせり出すといった地中に潜るのに適した形態を持ちます。

只見町では、シマヘビとアオダイショウに次いで目にする機会が多いヘビです。生息地となる森林の面積が広いためであると考えられます。一方、全国的には宅地造成や太陽光発電施設の設置による生息環境の破壊により減少傾向にあることが知られています。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンターでは、下記の観察会を開催します。詳しくは、只見町ブナセンター (TEL 0241-72-8355) までお問い合わせください。

#### 観察会「春から初夏の野鳥」

日時：5月29日(日)、6月26日(日) 9:00~12:00

場所：恵みの森、只見湖・新田沢

参加費：高校生以上400円、小・中学生300円

町内在住の小・中学生、高校生100円



広報

# ただみ

5  
2022 月号  
別冊  
令和4年5月10日



只見高校甲子園出場へご支援いただき  
ありがとうございました!

「福島県立只見高校の甲子園出場を応援するためのプロジェクト」に多くのご賛同をいただき、ありがとうございます。

おかげさまをもちまして、支援人数551人、寄付金額は1274万482円となりました。

皆様からのご支援に深く感謝いたします。

今回いただきましたご支援については、今後の野球部の活動などに有効活用いたします。

以下ご支援をいただいた方のご紹介をいたします。

○お申込書、またはお申込フォームに記入いただいたお名前（敬称略）で掲載しております。

○お申し込み時に公開を希望された方のみご紹介しております。

○個人情報保護のため、お名前のみ掲載しております。

○今回の寄附に関するお問合せにつきましては、只見町地域創生課創生企画係（☎82-15220）までご連絡ください。

○有限会社 河内屋商店  
代表取締役 山内 拓也



○会津乗合自動車株式会社  
会津トラベルサービス株式会社



○只見写真愛好会

「只見大好き写真展」準備委員会

一同 代表 猪又かじ子

○只見町布沢地区移住者有志

有志代表 松崎 顕

○第1回スパイクボール湘南ビーチ大会運営スタッフ 佐藤 太一



○会津電力株式会社

代表取締役社長 磯部 英世



○南会津地方広域市町村圏組合

有志一同



○みやぎ会津会 会長 須佐 尚康



○ばんだい東洋建設株式会社

代表取締役 相原 清司

○株式会社 共生

○鮫川村長 関根 政雄

○金山町 金山町議会



○両沼地方町村会

会長 湯川村長 三澤 豊隆



○株式会社 松本組

○北日本グループ 有志一同

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 酒井 盛光 | 中林真一郎 | 鈴木 香菜 | 三瓶 孝明 | 高階 康宏 | 星 勇夫  | 星 珠世  | 遠藤 文隆 | 川上 功  | 山口 邦子 | 目黒 俊介 | 赤塚 康志 | 中野 敏徳 | 齋藤 悠輔 | 五十嵐 敬一 | 山内 鼎  | 八木橋憲行 | 嶋田 絵里 | 乙黒麻衣子 | 安藤 亮  | 重井 規江 | 岩淵 邦雄 | 高橋シツ子 | 安藤 瑞子 | 坂本 精一 | 菅家 広三 | 府川 英史 | 栗原 義一 | 山口 慶子 |
| 山内 秀征 | 植村 正和 | 瀬谷 幸巨 | 重石 稔  | 木植 里江 | 酒井 広志 | 横山 翔平 | 藤木 雄次 | 新國 拓  | 星 貴樹  | 小沼 義範 | 目黒 正保 | 向中野勇司 | 柴田 一勉 | 山下 晃範  | 小澤 一嘉 | 横山 邦彦 | 高野嘉津夫 | 鈴木 昭弘 | 五十嵐典矢 | 山本 千佳 | 坂口さち子 | 長谷部隆夫 | 松山 正史 | 船木 愛  | 田巻 史子 | 山内 裕正 | 西原 真理 | 松清 智洋 |
| 府川 幸子 | 柳川 民江 | 横山 勝則 | 遠藤 耕市 | 木津 智之 | 伊藤 大輔 | 中島 宏和 | 穴戸 正行 | 佐藤 正子 | 菅家 大和 | 原 啓   | 阿久津研二 | 佐藤 幸一 | 長谷川信子 | 嘉山 宣子  | 中村真由美 | 大関 正徳 | 鈴木多嘉子 | 渡邊 大海 | 會澤早智子 | 渡部 由嗣 | 鈴木 倅子 | 佐々木正春 | 目黒 正  | 吉田美智男 | 荒井 伸吉 | 河内 友和 | 塚本 国広 | 小沼 昇  |
| 岩淵 秀隆 | 手代木洋一 | 矢部 俊一 | 小野 裕一 | 五十嵐日菜 | 渡部 哲哉 | 馬場 楓  | 平山 聡  | 陣野満里奈 | 國定 俊彦 | 野中慎太郎 | 倉持 慎  | 羽田 泉  | 佐藤 純子 | 新國 悟   | 長谷部英樹 | 大森 勝寿 | 秋澤千保子 | 佐藤 雄平 | 柳沼 光子 | 星 晴博  | 長谷部孝行 | 渡部 一樹 | 齋藤 一  | 星 光喜  | 星 祐樹  | 鈴木 宏幸 | 菅家 芳助 | 菅家 芳作 |
| 星 真葵  | 小久保 勉 | 谷米 恵子 | 成田 悠樹 | 佐藤 勇人 | 白井千鶴子 | 横山 儀巳 | 佐藤 孝  | 酒井 文高 | 三瓶 やえ | 篠木 弘  | 田部 遼介 | 木原真由美 | 國分 孝子 | 廣川 尚彦  | 高津 創一 | 青木 陽子 | 星 夕力子 | 柳谷 千代 | 押田奈美子 | 鈴木 祥晃 | 松本 庸之 | 渡部 公栄 | 目黒 寿人 | 市川 春美 | 渡邊 広三 | 田村 聡  | 長崎 羊子 |       |
| 三瓶 芳美 | 間島 一浩 | 渡部 雅勝 | 平野 美保 | 小牧 洋  | 鈴木 雅志 | 斎藤 寛  | 菅家 裕  | 野里 悦子 | 福田 佑太 | 栗田 征武 | 菅家 伸  | 布沢 剛  | 加藤 貴司 | 大谷 英明  | 大堀 拓哉 | 鈴木 孝啓 | 瀬田 千春 | 落合 宏朗 | 沼田 明  | 横山いつ子 | 荒深 秀子 | 荒深 誠  | 堀籠 精夫 | 今泉 豊光 | 堀金 一雄 | 大澤 允  | 大藪 琢也 | 仙波 新英 |
| 小野木 太 | 山内 久  | 波多野三郎 | 鈴木 香菜 | 横山絵理奈 | 近藤 秀伸 | 山本 英門 | 吉津 ゆき | 長谷川 昭 | 小杉 和孝 | 横山 文哉 | 鈴木 有起 | 菅家 誠志 | 重井 文博 | 永瀬 隆雄  | 小林 吉男 | 早坂 美希 | 平 和敏  | 横山 章夫 | 菅家 洋也 | 川島 典子 | 佐藤 範明 | 八島 修  | 森田 茂賀 | 木村 智彦 | 熊田 大輔 | 仲野 雅幸 | 鈴木美智子 | 三瓶 舞香 |

# ふるさと交流都市・千葉県柏市からも 只見高校への応援が届きました！

只見高校野球部の甲子園出場決定後、ふるさと交流都市・千葉県柏市では、応援幕の掲示や柏駅前大型モニターでの応援動画の公開、柏市内の約10箇所で応援募金箱の設置が行われるなど、様々な形でたくさんの方に応援していただきました。



▶ 柏市役所に掲示された懸垂幕



▲ 柏駅前では太田柏市長のメッセージとともに応援動画が公開されました



▲ ふるさと交流協会の皆さんから届けられた応援幕が、アルプススタンドに掲示されました



▲ 只見写真愛好会「只見大好き写真展」準備委員会の皆さんからも応援が届きました

## たくさんの応援と感謝が届きました！

- 只見高校は会津の、いや福島の誇りです。がんばっせよ！応援してっから！
- 故郷の高校の甲子園出場、夢のようです。頑張ってください。
- 同じ会津地区の誇りです。精一杯、最後の1球まで全力で元気にプレーしてきてください。応援しています。
- 出身地である只見町、そして母校を誇りに思います。

- 感謝しました。感動しました。素晴らしいチームでした。
- 高校生の活躍に元気をもらいました。ありがとうございます。
- みんなの笑顔が素敵だった。涙がとまらなかったよ。会津男子よ、感動ありがとう！只見最高！！
- 本当に本当に感動をありがとうございました！
- 只見高校の1点は福島の人々に勇気と感動を与えてくれました！

応援してくださった皆様、本当にありがとうございました！